



## かえでゆうびん 5月号

2021年5月1日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園 かえで保育園  
園長 引地 美津代

園庭のこいのぼりも風になびきながら「みんな！！春の風は気持ちいいよ～」と嬉しそうな声が聞こえてきそうです。気候も良く、園庭の花や草木は日差しを浴びて生き生きとしています。

五月晴れ、季節は心地よく気持ちの良い日々を過ごせるはずですが、昨年より心や頭の中は、目に見えない感染症に怯え、感染症対策に躍起になってしまい、空を見上げることが少なくなってきたように思います。

園庭で泳ぐこいのぼりのようにのびのび優雅に過ごせる日が一日も早く訪れることを願います。

その日を待ちわびながら時々空を見上げたり、呼吸を整え、気持ちを切り替えたりしながら保育園生活を円滑に送れるよう見通しをもって進めていきます。

4月中旬には感染症の件では大変ご心配おかけいたしました。市中感染が急激に増え、西宮市の保健所や医療現場がひっ迫してしまい、感染経路はもう追えない状況です。園としても先が読めず、情報をお出しできない状況もあり、保護者の方々も心配されたと思います。昨年の新型コロナ感染ではまだ、機関にもゆとりがあり、連携も取りやすかったのですが、現状は厳しく医療従事者だけでなく保健所や対応される方皆さんが困惑している状況です。

最近、発症された方から感染症と戦う様子を聴いて今以上に感染防止に努め絶対にかからない対策が必要だと切に思いました。

「熱っぽいなと思っていたら急に40度近くに上がり、そうすると解熱剤も効かない。関節が激痛・全身の骨を砕かれているように痛い。息ができなくなるほどの胸の苦しさにこのまま死ぬのかも？」の不安にかられたそうです。また、その状況でも入院も隔離の施設にも行けず、ひたすら家庭内隔離・一人で耐える状況だったそうです。まだまだ、コロナとの戦いは続きます。感染しても病院や隔離してもらうことも難しいのが現状です。一人ひとりが正しい対策をもち、こんな大変な状況にならないよう感染防止に努めたいと思います。

昨年はすべてのことを中止せざるを得ない状況でしたが、今年はできるだけ子どもたちの思いや考えをうまく伸ばしてあげられるよう様々な視点から計画していきます。

5月の運動発表会も新クラスになって僅かですのでまだまだこども同士の思いは一つになってはいませんが、各々のわくわく感は充分です。乳児は園庭探検・そろそろとした水遊び。幼児は野球にダンスに相撲・鉄棒への挑戦・コマ回し・制作意欲にもすごい力を出してくれています。今年も一人ひとりがどのような姿を見せてくれるか楽しみです。

子どもたちのやりたい！！が感染症等で止めないといけない事にならないよう最大の注意を払って園生活をしていきます。

～園からお願い～

### 再確認してください

- \*家族が体調不良だと感じたときは、登園は控えてください。
- \*家族が受診された時点で必ず、園に報告をして頂き、保育を受けている場合は速やかにお迎えにきて下さい。
- \*大人の方はもちろん、子どもたちの石鹸での手洗いの確認をしてください。
- \*できる限り人込みには出かけない生活を心掛けて下さい。



新緑がきれいな5月、園庭の木々や草花も子どもたちと同じようにのびのびと大きく育って  
くれています。

ひとつ大きくなった子どもたち、中でもだいちさんは待っていましたと言わんばかりに自分の  
やってみたいことをリクエストしてくれています。遊びはもちろんのこと、保育園で楽しみの  
一つお昼ご飯の提案を紹介します。

「園庭でお昼ご飯を食べたい」との申し出に「お昼は何だったかな」と考えていたら、メニューをよく  
知っている子どもから「今日はうどんやったらムリかなー」との声。

「それなら明日にする？」と提案すると子どもたちも納得し決まりました。園庭で食べる昼食ですが、  
友達と離れて食べる・話さずに食べるという約束をし、会話もできない状況ですが、時折吹く風の  
心地よさに満足し、美味しいごはんを工夫して食べることができます。

また、新入园児さんの小さな子どもたちが泣いているとお世話も積極的にしてくれます。小さい子の  
気持ちを一早く理解し、あやしてくれたり、園庭側の窓越しから小さな子の目線に合わせて声をかけて  
くれたり、年長らしい関わりをしてくれています。人との関わりが大切な時期、コロナ禍ですが、遊び  
方にも十分な配慮をしながら、安心安全な園生活を送っていきたいと思います。

主幹保育教諭 藤森寿美

いつの間にか“新しい生活様式”という言葉を目にするのもほとんどなくなりました。  
今の生活が当たり前となってきていますが、慣れていくことはなく、“こんな風に出来れば…”と  
思うことも、しばしばあります。

昨年の今頃、緊急事態宣言下でどうにか子どもたちや保護者の方々と繋がることができればと思い、  
手作り感満載のDVDを作成したことを思い出しました。現在も登園して良いものか迷われている  
保護者の方々の思いに触れ、歯がゆい気持ちでいます。様々な制限がある中であっても子どもたちの  
経験が豊かなものとなるよう、保育者も工夫しながら日々の保育を行っています。

園庭では、つぼみ組と幼児クラスが思いっきり身体を動かしたり体操やダンスをしたり、水の流れや  
泥の感触を感じています。風が心地よい2階のテラスでは、ふたば組が揺れる風船で風を感じたり  
小さなサーキットを用意して段差の上り下りやトンネルの中から顔をのぞかせて友だちとのやりとりも  
楽しんでいました。そしてめばえ部屋前のテラスでは、安心できる保育者の元から少し離れて、めばえ  
さんは、初めて会うおもちゃや草花に自ら手を伸ばしています。午前中は木陰になりかつらの葉が風  
に揺れている様子がとても心地よい場所です。

午後になるとすべり台前の築山に柔らかな陽が差し込み、子どもたちが芝の上で手足をうーんと  
伸ばす姿が、とても気持ち良さそうです。カエルやかめ、園庭に住む虫たちなど、感染症を気にせずに  
のびのびと過ごす様子を「いいなあ…」といつも羨ましく見ているのですが、子どもたちの世界に  
流れる心地よい時間も、この先ずっと続いて欲しい、そして守っていきたいと思う毎日です。

副主幹保育教諭 河本彩奈

## ～めばえぐみ～

ねらい：「保育者と一緒に安心して過ごす」「いろいろな物、素材に触れてみる」

うた：「ことりのうた」「さんぽ」「ももやももや」「こっちのたんぼ」

保育園での生活がはじまり、初めは泣いていた子も保育者と園庭を散歩して興味のある玩具を探索しながら笑顔に向けてくれるようになってきました。風で揺れる草花やモビールの動きに指をさし身体を動かしながら喜んでいきます。ピオトープにいるおたまじゃくしの動きをじっとみつめる様子も見られ、この1ヶ月で「いろいろなはじめて」を体感しているようです。これから面白い楽しいをたくさん体験できる日々を大切に過ごしていきたいと思います。

### “どんなところかな？”

天気のいい日は帽子を被って園庭散歩をしています。初めは抱っこをしながら園庭の景色をゆったり見ながら過ごしていましたが、今ではマットに座るとはいはいをして進む子、手のひらについた砂を握りじっと見つめる子、と思いつきに散歩しています。「めばえさんだ！可愛いね」「名前なんていうの？」とお兄さん、お姉さんに声をかけられると嬉しくて手を振る子、見つめられるとおもわず泣いてしまう子と様々な子どもの姿がありました。見て、触って、肌で感じてたくさんの刺激を感じながら過ごしているところです。



### “見ているよ”

毎日一緒にご飯やミルクを飲み、着替えや排泄を繰り返す中で少しずつ子ども達の気持ちも落ち着いて過ごしています。周りへの興味がはじめて、自分から玩具を取って後ろを振り返り、目が合うと「今の見た!？」と声が聞こえてくるような表情で何度も繰り返し見せてくれます。これからも子ども達とのふれあいを大切に、一人ひとりがどんなことに興味があるのか一緒に探していきたいです。そして心地のいい安心できる居場所になってもらえたらうれしいです。



### “担任の思い”

子ども達にとって保育園生活は毎日のはじめての発見になっています。ちいさな興味や気づきを友だちや保育者とたくさん見つけながらどのように遊びが広がり、どんな表情を見ることが出来るか今から楽しみです。ずっと傍にいた保護者の方と初めて離れて過ごした4月。これから信頼関係を築きながら新しい居場所友だち、先生、体験に繋がるよう寄り添いながら毎日を大切に過ごしていきたいと思います。

日笠 加菜・西田 汐里菜・小板橋 円香

## ～ふたばぐみ～

ねらい：「保育園生活に慣れ楽しく過ごす・水や砂の感触に触れる」

うた：「さんぽ」「きらきらぼし」「げんこつ山のたぬきさん」「ととけっこう」

新しく6人のお友達を迎え、15人での生活が始まったふたば組。進級・入園を祝うように、めばえ組から育てていたチューリップも、きれいな花を咲かせてくれましたよ。

新しい部屋、新しいお友だち、新しい生活…子どもたちにとって刺激がいっぱいの毎日を1か月過ごし、新入園児さんも笑顔が少しずつ増え、在園児と共に夢中になって遊ぶ姿も出てきました。保育園が、「楽しい」「安心できる」場所が変わっていていることを嬉しく思います。

### “ぶっぶ〜！”

新しく働く車の玩具がお部屋にやってきました。トラックやはしご車、積み荷や運転席の付いた車等、大きささまざまな種類があります。畳みや棚の上、窓辺の高くなっている場所を思い思いに走らせたり、車同士を連結させたりして楽しんでいきます。机上遊びやおままごとコーナーからトラックの荷台に乗せるピッタリサイズの玩具を探し出し、新しい遊び方も楽しんでいきますよ。また、お友だちと一緒に、荷台の上に積み木を高く積み上げて「おお〜！」と歓声が上がることもあります。遊びの中で「くっつけて」「ながーい」「できた」「じょうず」「とれちゃった」など保育者やお友達に対して言葉のやり取りも増えてきました。大人が聞くと分からない言葉も、子ども達同士では通じ合っているようで、かわいらしいやりとりの姿が見られますよ。

車が大好きな子ども達は、園庭でもフェンスやテラスにくっついて、道行く車をじーっと観察しています。



### “生き物との出会い”

ある日、園庭のピオトープに水槽が黒く見えるほどたくさんのおたまじゃくしがやってきました。水が大好きなふたば組の子どもたちは、毎日ピオトープも観察しているので、すぐにいつもと違う様子が気が付いていました。それからは「いたね!」「これなに〜?」と指差して保育者に尋ねることが日課になってきています。手足が生えてきたおたまじゃくしに、どんな反応を見せてくれるのか今から楽しみです。

また、最近はカメのもりぴーといっちゃんにも興味津々です。園庭に出ると「おはよ〜！」とカメのお家を覗き込んで挨拶しています。中には、お家から出て散歩しているカメさん達の甲羅や手足を触って喜んでいる子もいますよ。おたまじゃくしやカメの他にも、蝶々やカエル、ダンゴムシやてんとう虫、たくさんの生き物がかえで保育園に遊びに来ています。「これなに?」の気持ちを大切に、初めての生き物たちとの出会いを楽しんでいきたいです。



### “担任の思い”

慣らし保育も終了し、いよいよ5月から本格的に15人での園生活が始まります。新しい環境や雰囲気にも少しずつ慣れてきました。これからはさらにお友達同士での関わりが増え、夢中になって取り組む遊びも増えていくと思います。遊びだけでなく、生活でも出来る事が次々増えていきます。保護者の方と一緒に、子どもたちの成長を喜び合いながら過ごしていけたらと思います。

今年1年、子ども達と一緒に笑って、楽しんで、発見して、驚いて、1人ひとりの「大好き」な遊びを一緒に見つけていきたいです。

\*5月から福井が復帰します。 よろしくお願ひします

立田 瑛怜菜 松岡 桃花 福井真裕子

## ～つぼみぐみ～

ねらい：「友だちと一緒にあそぶことを楽しむ」

うた： ことりのうた・おつかいありさん

2階での生活にも少しずつ慣れてきました。毎朝階段を上る姿はとても可愛らしく、手すりをしっかりと持って軽快な足取りでお部屋に向かっています。室内ではそれぞれに好きな遊びを見つけ出し、楽しく取り組んでいます。初めて見る玩具に興味津々で「これどうするの?」と保育者に尋ねたり友達同士で考えたりしています。これからも遊びを通して人とのコミュニケーションをたくさん図っていけるよう見守っていきたいと思います。

### ～初めての体操あそび～

今年度より体操遊びが始まりました。昨年は築山の上で真似して身体を動かす姿が印象的だった子どもたち。しかし今年は「いよいよ自分たちの番だ!」というように毎週木曜日になると朝から「きょうはたいそう!」と体操遊びをとても楽しみにしています。今はサーキットを中心に様々な動きを楽しんでおり、平均台をゆっくりと落ちないように渡ったり、鉄棒にぶら下がってみたり・・・また巧技台の上からのジャンプにも挑戦して



います。もちろん途中で転ぶこと、うまくいかないこともあります。その度に自分で立ち上がってもう一度!と再び挑戦していく姿を大切にしています。

これから体操遊びはだいち組まで続きます。その中でやってみようの気持ち、そして出来た時の達成感、また出来ない悔しさなど楽しみながら子どもたちにたくさんの経験をしていってほしいです。

### ～見つけたよダンゴムシ～

春の園庭にはおたまじゃくしに蝶々、ミミズとたくさんの生き物が顔を出しています。そんな中、つぼみ組のブームはダンゴムシ探し!園庭に出ると保育者の手を引っ張って「ダンゴムシさがそう~!」と花壇や木の下に一直線です。見つけたダンゴムシを手のひらに乗せると、歩く感触がくすぐったいようで子どもたちの大きな笑い声と嬉しそうな声が辺り一面響いています。最近はそんな大好きなダンゴムシをお部屋でもお世話することにしました。ダンゴムシの絵本もお気に入り。絵本を見ながら、何を食べるのかどこに住んでいるのか・・・たくさんのことを知ることが出来ました。お部屋でも外でもダンゴムシに触れる中で始めは「かわいい・・・」と感じていた子どもも「さわってみる!」と自ら手にのせることが出来たり、興味をもって虫かごを覗いてみたりとすっかりお友達になった様子です。



そして今、子どもたちが楽しみにしているのはダンゴムシから赤ちゃんが生まれること!さあ、小さな赤ちゃん生まれてくれるかな??みんな楽しみにしています。

### “担任の思い”

少しずつ言葉が増えて、自我がはっきりとしてくるこの時期。たくさんのことに興味をもってやってみたい!の気持ちを保育者も共感していきます。発語にはまだまだ差があり、自分の言葉でうまく伝えられないこともあります。言葉でなくても表情や動作でたくさんの思いを伝えてくれる子ども達です。それは友達同士でも見られ、少しの言葉でもあつという間に楽しい雰囲気広がります。これから1年間たくさんの経験を通して子ども達がどんな発見をして、どんなことに興味をもっていくのか楽しみです。

今井 奈沙・坪金 玲奈・小城 美紗

## ～いぶきぐみ～

ねらい：「友だちと一緒にあそびを楽しむ」「園庭の虫や草花に興味をもつ」

うた：「みどりのマーチ」「こいのぼり」

新しい生活がスタートして一ヶ月が経ちました。幼児の部屋にある様々な玩具や絵本、そして自由に鳴らせるいろんな楽器。子どもたちは思い思いに楽しんであそんでいます。ひかり、だいちのおにいさん、おねえさんたちからお世話をしてもらったり、あそびを教えてもらったり、絵本を一緒に見たりなど関わりを楽しむ姿もみられるようになってきました。

### “はじめての絵画”



はじめての絵画…子どもたちは「かいが？」と首をかしげていましたが「お絵かきとかたのしいことをするよ」と伝えると表情が変わり、「やってみよう」「はやくいきたい」と子どもたち。白い大きな画用紙におかあさんの顔を描いてみようとお田先生が描き始め、顔にはなにがある？と聞かれると「め、はな、くち、まゆげ」「あれ？かみのけがないよ」などたくさんの声が聞こえてきました。大きな画用紙、クレパスを手に取るとみんな思い思いに好きな色を選び、うでを大きく動かしながら夢中になって画用紙いっぱい大きく描いていました。できあがると、「みてみて～かけた」

「もういちまいかきたい！」などはじめての絵画を思いきり楽しんでいました。これから子どもたちの思いが詰まったいろいろな作品に出合えることを楽しみにしています。

### “ランチルーム”

幼児クラスになりランチルームでの食事が始まりました。階段を静かに降りて手洗い、消毒。ランチルームではひとつの机に二人座り、食事はトレーに並べられ運ばれてきます。子どもたちにとっては初めてのことばかりでしたがすぐに自分の席も覚え、うれしそうに顔を見合わせ笑っています。



食事のメニュー紹介をしていると「にんじんはいってる」「きゅうり」「なっとう」などいろいろな食材を子どもたちがひとつひとつ確認しています。「手をあわせて…」と言っている途中で「いただきます！」と元気なあいさつが聞こえてきます。

そして、おやつではだいちぐみのペアになっている、おにいさん、おねえさんがお昼寝の部屋まで迎えに来てくれてランチルームへ向かい、一緒におやつを食べています。お昼寝から起きたときはまだ眠たかったり、まだゴロゴロしていたかっりの子どもたちですが、「おはよう」「いっしょにおやつにいこう」「きょうのおやつはなにかしている？」などだいちさんから声をかけられると起き上がりランチルームへ向かっています。だいちさんと一緒におやつを食べながら笑い合っている姿を見るとなんだか気持ちがあたたかくなります。

### “担任の思い”

新しい環境の中でたくさんの方がスタートした子どもたち。朝の登園では「おはよう」と元気なあいさつが聞こえてきました。でも時にはポロポロと涙がこぼれてしまうこともありました。いぶきぐみになった喜びと同時に環境の変化に不安な気持ちもたくさんあったと思います。そんなとき、友だちやおにいさん、おねえさんたちが声をかけてくれるとふっと気持ちが切り替えられることがありました。みんなと一緒に過ごす心地よさを感じながらいぶきぐみを思いっきり楽しんでもらいたいと思います。

星加 由美子・小寺 涼香・峰 夏音

## ～ひかりぐみ～

ねらい：自由に表現すること、身体を動かすことを楽しむ。

うた：「こいのぼり」「ドロップスのうた」「つばめになって」

いよいよひかり組としての新しい生活が始まりました。「もうひかりさんになったからね。」と得意気に話す子どもたち。だいち組とも一緒に過ごすことで、やってみたいことがあると、年齢関係なく、様々なことに挑戦しようとする姿も見られるようになりました。そんな姿を見て「〇〇くん、すもう上手くなっている…。」と、ひかり組の頑張りに焦るだいち組もいるほどです。年齢を気にせず、興味のあることにどんどんチャレンジしてほしいです。



### “春がやってきた”

暖かい春がやってきて、嬉しそうな子どもたち。風が吹くと、「今日はいい天気だし、きもちいなあ〜。」と築山に寝転ぶ様子も見られます。暖かいことだけでなく、園庭に小さな生き物たちがやってくることもうれしい理由のひとつのようです。ダンゴムシやてんとう虫を見つけると、「みてみて！見つけたよ！」と嬉しそうに教えてくれます。

去年は手にのせることも嫌がっていたことが嘘のように、腕まで登っていくダンゴムシを見せてくれます。

また育てているそら豆や、ブロッコリーの花が咲きました。「水やり頑張らなくちゃ。」と忙しそうにしています。他にも園庭に咲いた花や、葉っぱを使って色水にしたり、押し花にしたり、いろいろな方法で遊んでいます。

春だからこそできる遊びを、思う存分楽しんでいきたいです。



### “新野球部始動！”

去年のだいち組の野球部部員が引退したあと新しい野球部が結成されました。

新しい部長と副部長も決まり、役割を持って遊ぶことがなんだかお兄さんになったようでやる気満々の子どもたち。

朝からグローブとバットを握りしめて、園庭にかけていきます。

今まで去年のだいち組が遊んでいた様子をよく見ていた子どもたちは、野球のルールや



約束事もよく知っていて、子ども同士で相談し合って、遊びを進めていきます。

また、野球を通して自分の気持ちを積極的に相手に伝える機会も増えました。以前は少し恥ずかしがっていた子どもたちも、「やきゅうの れんしゅう はじめます！」と元気いっばいの声で教えてくれます。遊びを楽しむだけでなく、様々な人との関わりも深めてほしいです。

### “担任の思い”

新しい生活が始まってからも、やってみたいことを自分で選択し遊び込むことができる子どもたち。

ひとりひとり興味の違いはあっても、継続して楽しむことができるようになってきました。

子どもたちが今、楽しい！おもしろい！と感じていることを、5月のうんどう発表会でも表現できたらと考えています。子どもたちが自由に表現する楽しさを感じることができるよう、そばで見守っていきたいです。

## ～だいちぐみ～

ねらい：「挑戦したいことを見つける」「身の回りのことを自分で行う」

うた：「ドロップスのうた」「こいのぼり」「かぜはともだち」

だいち組になり1ヶ月。「だいちさん」と呼ばれることにも慣れ、憧れだっただいち組としての生活が始まりました。やってみたいこと、行ってみたいところ、調べてみたいこと…。毎日キラキラした顔で教えてくれます。これから1年間、子どもたちがどんなことに興味を持ち、遊びを広げ、保育園での生活を過ごしていくのか、楽しみにしています。

### “ペアのいぶきさん”

4月から始まった生活の中でペアのいぶき組のお世話を任せられただいちさん。朝の集いに行くときもお昼寝からおやつに行くときも、どんなふうに声を掛ければいいのか、戸惑いながらも毎日頑張ってくれています。いぶき組の中には“じぶんでしたい”“ひとりでできる”という気持ちが高く、だいちさんが誘い掛けても「ひとりでいくから」と言い返されてしまうことも…。何度も何度もやさしく誘い掛けてみますが、「ま



だあそびたいの！」と断られることもしば

しば…。それでも諦めずにペアの子の話を聞きながらどうにか一緒に行こうと、4月からの1ヶ月毎日向き合ってくれました。そんなやりとりを繰り返して少しずついぶきさんも生活の流れが分かり、自分のお兄さんお姉さんとの関わりを楽しめるようになってきました。ペアのいぶきさんがお休みの日には、「ほかのこのおてつだいするね」と言って、張り切ってお手伝いをしてくれることも多く、とても頼もしいだいちさん。上手いできないことに悩みながら、時にはだいちさん同士で話し合い、工夫しながらペアでの関わりを深めていって欲しいです。

### “だいちぐみのおでかけ”

だいち組だけでおでかけしたいね、どこに行こうか、何をしようか、わくわくした表情でいろんな思いを聞かせてくれるだいちさん。さっそく30日のお出かけの行先の話し合いが始まりました。自分の思いを通したいけど、友達の見解もたくさん出てきてなかなか意見がまとまらず…。じっくり時間をかけて話し合いをし、ようやく行き先が決定しました。みんなで決めた「おまえはま」へのお出かけは、決まったその日からそれぞれが自分のしたいことを決めて心待ちにしていました。



そうして迎えた30日、いいお天気の中だいち組18人全員でお出かけすることが出来ました。御前浜に着くと、カニ探しに貝殻広い、ふかふかの砂の上で相撲大会、木登りにかけて競争。自分たちで計画したことが実現した喜びをいっぱい笑顔で伝えてくれ、こちら嬉しくなりました。子どもからは「Oちゃんはかにをさがすんだよね」「そっちはどう？」と友達のことを気にかける姿も見られました。また楽しいお出かけを子ども達と計画していきたいです。

### “担任の想い”

この1ヶ月の間に、出来るようになったこと、上手いできないこと、頑張りたいと思うこと、毎日色々な思いや心境の変化が感じられました。色々な気持ちを一番近くで見ている友達同士、ぶつかることもあります。自分の思いを表現して伝え合うことで相手を知ることなど、子どもたちが築いていく関係性を大事に見守っていきたいと思います。友達やペア、保育者、様々な人との関わりを通して、生まれる新しい気持ちの中で悔しい時や困った時などはそっと受け止めてあげられる存在でありたいと思います。

## ～はま・かぜグループ～

### ～じょうずだなあ～

室内では塗り絵やクレヨンを使ったお絵描きを楽しんでいます。同じクラスの子も同士で隣に座って描いていることもあれば、異年齢の子も同士で座っていることも。同じ塗り絵のデザインでも、ハートの模様をつけたりしましま模様を描いてみたりと子どもの個性や既存のものに囚われない想像力には驚かされます。

年上のお兄さん・お姉さんの作品をじーっと見て、「〇〇ちゃんの塗り絵じょうずだなあ」「どうやって描いているの～？」と話している様子を見かけます。だいち組の友達が塗った塗り絵をプレゼントしてもらい、「もらったの！」と笑顔で保育者に見せた後に、大事そうにカバンに入れるいぶき組の姿もありました。プレゼントした側の子も「〇〇ちゃんにあげるから、線からあまりはみ出さずに塗ったんだよ」と少し照れているような表情でした。



### ～あたらしい いのち～

4月からそれぞれ新しい組になった子どもたち。

園庭の水槽にも、たくさんのおたまじゃくしがかえで保育園に仲間入りしました。生き物が大好きな子どもたちは、毎日園庭に出るとおたまじゃくしを観察しています。

ある日、スコップとバケツを持っただいち組の子どもたちが、おたまじゃくしすくいをしていました。その姿を見ていたいぶき組とひかり組の子どもたちは「ぼくもやってみたい！」「おもしろそう」とおたまじゃくしすくいに興味津々の様子。だいち組の子どもたちはスコップとバケツを渡し「こうやってすくうんだよ」「カエルの赤ちゃんだからそーっとすくってね」と年下



のお友達に優しく教えたり、一緒に遊んだりとお兄さん、お姉さんの姿が見られました。

これから子どもたちが、おたまじゃくしを大切に育てていく様子を、私たちもそばで見守っていきたいと思います。

### “担任の思い”

朝はだいち組といぶき組がペアになって朝の集いに行きますが、遊びを終えて集いに行く事が難しいこともあります。4月の初めの頃はだいち組が「なんで来てくれないんだろう」と葛藤している場面をよく見かけましたが、「どうしたら一緒に来てくれると思う？」と聞くと「まだ遊びたいのかな…」と相手の気持ちを考える姿が見られました。最近では少しの間いぶき組の遊びに付き合ったり、違う話題から一緒にお部屋に行くよう誘ったりと、ただ「行くよ」と言うのではなくペアの友達の気持ちを考えて話しかけているのかなと思いました。大人も子どもも関係なく、相手を思いやる気持ちや行動がお互いの信頼関係の構築につながっていると改めて感じました。

これから、年下の友達のお世話をし感謝されることをうれしいと感じたり年上の友達にあこがれの気持ちを持ったりと、居心地の良さを感じられる関係を築く過程を見守っていきたいです。

小寺 涼香・峰 夏音

## ～先生コーナー～

小さな子どもがいるなか、緊急事態宣言がでると休みの日に出かけづらくなり行き場に悩みますね。私もその中で今はお家遊びの充実を目指して何があれば楽しい時間を過ごせようとする日々です。我が家ではままごとの具材を増やしてみました。手の込んだものはそろえるまでに時間がかかってしまうので、今回は細いフェルトをくるくると巻いて裁縫用ボンドで止めて、お菓子のコロンのようなものを何色か作ってみました。作る過程も息子も隣で同じようにして楽しんでいました。いざ、出来上がると一つ具材が増えただけですがままごとあそびがさらに盛り上がり店員さんになりきって出前をしてくれます。注文をしてから作っている間に母は家事が少しでも進みお互いに気持ちの良い時間が増えました。今年の連休もどこにも出掛けられなくなってしまいました。体調管理に気をつけながら家族で過ごせる今を楽しめるように過ごしたいですね。



宝田 聖美

## 保護者の方からのお話コーナー

4月になって、「〇〇、つぼみさんなの！」と嬉しそうに教えてくれました。家ではなく「保育園がいい」と言うこともあって、それだけお友だちや先生と遊ぶことが楽しいんだなと感じます。登園する時にお友達を見つけると、嬉しそうに走っていきます。今年も楽しく、たくさん学んで、吸収して欲しいと思います。

つぼみ組 かえさん

「あと〇日でだいちゃんや！」とわくわくカウントダウンをしていた息子が遂にだいちゃんに。最近では逆上がりの猛特訓をしている様で、毎日手に豆をいっぱい作って帰ってきます。先日、お迎えの時に初めて逆上がりが出来たところをたまたま見る事ができ、感動しました。

大変な時期はまだ続きそうですが、思いっきり楽しんで最後の一年を過ごしてほしいです。

だいちゃん組 まりなさん

最近、保育園で野球にはまっている息子。なんでも、野球チームに入っていると。家でも毎日していて、ピッチャーにバッターにみるみる上達して、我が家のルールの野球で22-8で母は大敗しました。

ある日どうして野球をすることになったのか何気なく聞いてみると、思いもしなかった始まりのエピソードを話してくれました。「忘れたー」といつも通りの返事かと思いきや一生懸命思い出して話してくれて、また一つ成長する姿を見る事が出来ました。

ひかり組 まどかさん

# ☆お台所より☆

葉の緑が眩しく、さわやかな風が吹き渡る季節となりました。

新年度がスタートして早くも1ヶ月が経とうとしています。

新しいお友達、お部屋にも慣れ、ごはんもおいしく食べられるようになってきた頃でしょうか。

たくさん遊んでたくさん食べて、保育園生活を過ごしてほしいと思っています。

春の旬野菜には、強い香りや苦味を持つものが多いですが、衛生面を徹底しながら、食材に触れる機会を設けたり、食べやすいように工夫したり、少しでも子どもたちに野菜を味わってもらえたらなと思っています。

## ～旬の野菜の紹介～

5月の旬野菜は、**新たまねぎ**、**タケノコ**、**グリーンピース**、**アスパラガス**、**春キャベツ** などがあります。今回は新たまねぎについてご紹介します。

新たまねぎは、一般的なたまねぎと比べて、以下のような特徴があります。

- やや扁平な形をしている
- 皮が茶色ではなく白っぽい
- 水分を多く含んでいてとてもみずみずしい
- 独特の甘みがあり、辛味が少ない



◆新たまねぎの栄養価の中で一番の注目は、ツンとした香りの正体である「硫化アリル」というものです。硫化アリルは、普通のたまねぎにも含まれる成分ですが、水にさらすなどすると成分が流れ出てしまい、熱にも弱いのが難点です。しかし、生で食べやすい新たまねぎなら効率よく摂取できます。

◆新たまねぎを食べることで、血液サラサラ効果や免疫力アップの効果があります。

また、新陳代謝や疲労回復にも効果が期待できるので、季節の変わり目に風邪をひきやすい人や体調を崩しやすい人は、新たまねぎの良さを知り、積極的に食べてみて下さい！

## ～5月の献立 旬の食材～

さわら	アスパラガス	春キャベツ	きぬさや	しろ菜
新ごぼう	レタス	新たまねぎ	新じゃが	

## ～お知らせ～

昨年の5月からお昼ごはんの果物の提供を見合わせてしています。

現在、デザートに生の果物を提供することは、加熱ができないため衛生管理がしにくくなります。

そこでお子様の大好きな果汁100%のゼリー代替としています。開けるのも上手になりました。

例年通りにはいきませんが、ひと月に数回はゼリーを果物に変更して、果物の盛り合わせや、

子どもたちが好きなフルーツヨーグルトにして工夫しながらおやつに取り入れています。



- \*5月7日(金)～18日まで10日間  
常磐大学1名の実習を受け入れます。
- \*5月10・17・24・31の4日間  
武庫川大学心理社会福祉学科の学生3名の実習を受け入れます。
- \*5月22日(土)  
3部に分けて運動発表会を行います。  
各家庭、保護者1名の参加で計画しています。  
詳しくは後日お知らせします。  
(状況により順延する場合があります)

## こんなことしたよ♪

4月1日は入園式・進級式を行いました。  
めばえ組9人、ふたば組6人、幼児3人の  
あわせて18人の新しいお友達がかえで保育園の  
仲間に加わりました。  
ふたば組～だいち組の子どもたちは新しいクラス  
や1つ大きくなったことを友だちや先生と一緒に  
喜びながら過ごしています。



ひかり、だいち組で国営明石海峡公園までバスで  
遠足に行きました。天気もよく、たくさんの  
チューリップに囲まれて素敵な遠足日和に  
なりました。



## ★お願い★

- 感染症防止対策にご理解、ご協力をお願いします。
- 体調管理をお願いします
- 保護者の方が仕事をお休みの場合は家庭で  
過ごしてください。
- 緊急連絡をする場合がありますので休暇・自宅での  
仕事の場合は必ずお知らせください。  
また、緊急連絡表に変更があった場合は速やかに  
知らせてください。
- 幼児クラスはマスク着用にご協力ください
- 降園時、お子様をお渡しできるまでの間、間隔を  
空けてお待ちください。



## 5月の予定

- \* 7日(金) 月例健診
- \* 12日(水) 弁当日(幼児)
- \* 13日(木) 保健師による巡回指導
- \* 19日(水) 運動会予行
- \* 22日(土) 運動発表会(全クラス)
- \* 28日(金) 誕生会
- \* 6・13・20・27日 体操
- \* 未定2回予定しています 絵画

## 6月の予定

- 6/2・3 尿検査(幼児クラスのみ)
- 6/7 歯科健診
- 6/8 耳鼻科健診
- 6/9 眼科健診
- 6/19 同園会  
(詳しくは後日お知らせします)